

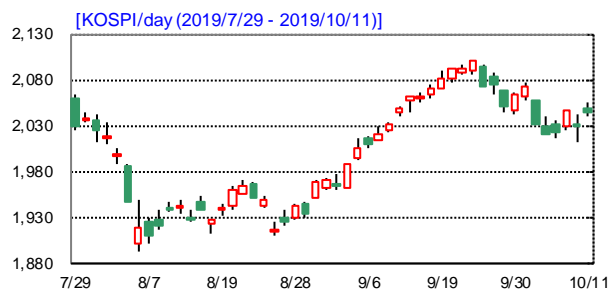


【韓国】 総合指数は 1.2%高と 3 週ぶり反発、米中協議を前に一進一退の展開

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.2%高と 3 週間ぶりに反発。9 日がハングルの日のため休場で、4 日間の取引だった。米中の閣僚級貿易協議を控える中、週明け 7 日は「中国が広範な合意に消極的」との報道を受け投資家が大きな売買を手控えた。8 日は時価総額最大のサムスン電子が発表した 7-9 月期暫定決算が市場予想を上回り、輸出への懸念後退で指数は 1.2%高。ただ、休場明けの 10 日は投資家が米中協議への慎重姿勢を崩さず、一時は 9 月 6 日以来の安値を記録する場面もあり、持ち高整理の売りが優勢だった。11 日はトランプ米大統領の協議への前向きな発言を受け、米中合意が韓国経済にプラス材料をもたらす期待感で反発して引けた。今週も神経質な展開か。16 日には 9 月の輸出物価上昇率、失業率など経済統計が発表される。

▼指数チャート

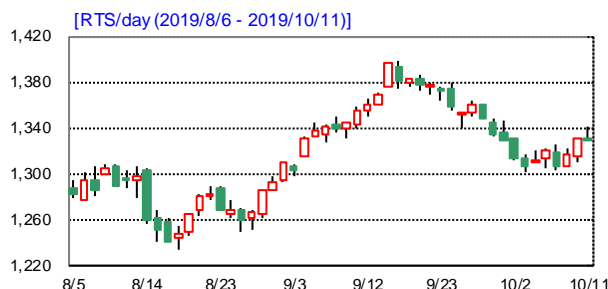


【ロシア】 RTS 指数は週間で 1.4%高と 3 週ぶり反発、今週は神経質な展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.4%高と 3 週ぶりに反発。米中通商協議に対する期待感やロシア中央銀行による追加利下げの示唆が買いを誘った。週明け 7 日は原油相場の高騰が好感されて資源株を中心に上昇し、指数は前営業日比で 0.7%高。その後、米中通商協議に対する不安から反落する場面がみられたものの、米中両国が通商協議に対して前向きな姿勢を示したことで再び買いが優勢となった。加えて原油価格の高騰や対ドルでのルーブル高、ロシア中央銀行による追加利下げの示唆も買いを促した。個別銘柄ではズベルバンク (3.4%高) などの金融株に加え、ノヴァテク (3.3%高)、ガスプロム (2.6%高) といった資源・エネルギー株の上昇が指数を押し上げた。今週はシリアを巡る地政学リスクが高まる中、神経質な値動きか。

▼指数チャート



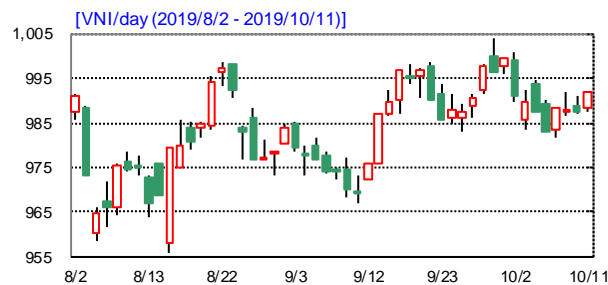
【ベトナム】 ベトナム指数は 0.4%高と反発、今週は米中貿易問題をにらんだ展開

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.4%高と反発。米中閣僚級通商協議への期待を背景にリスク選好が強まった。週後半に米中閣僚級通商協議を控える中、7 日は中国側が協議の対象案件を絞ったと報じられたことでリスク回避の流れが強まり、指数は前営業日比 0.5%安。ただ、その後は米中閣僚級協議への期待がリスク選好を高め、ベトナム株も堅調に推移した。11 日には中国側から米中協議について前向きな発言があったほか、前日にトランプ米大統領が「11 日に中国の副首相とホワイトハウスで会う」と述べ、米中間の対立が緩和するとの期待が高まった。個別銘柄ではベトナム航空 (5.9%高)、ベトコムバンク (2.8%高)、ペトロベトナム・ガス (1.8%高) などの上昇が指数を押し上げた。今週は米中貿易問題の先行きをにらんだ展開か。

▼指数チャート



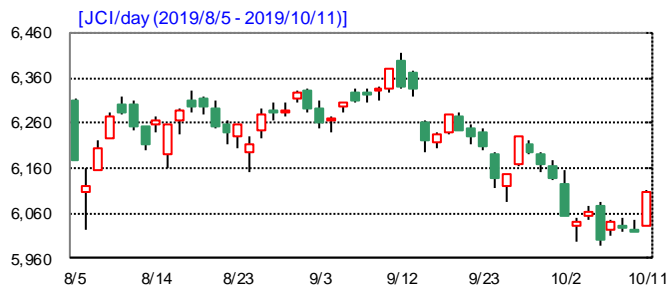


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.7%高、今週は 9 月の貿易統計が焦点

ジャカルタ総合指数は週間で 0.7%高と 4 週ぶりに反発。週末の上昇が奏功した。週初の 7 日は、前週末に発表された 9 月の消費者信頼感指数が 4 カ月連続で低下した影響で前営業日比 1.0%安と反落。8 日は米中閣僚級協議を週後半に控え、交渉進展への期待感から買われて反発した。その後は 10 日まで続落したが、11 日は協議初日の内容について、米中両国が好意的な見解を示した効果で指数は前日比 1.4%高と反発して取引を終えている。今週は 15 日発表の 9 月の貿易統計に対する市場の反応が焦点。外部要因では、18 日に発表される 7-9 月期の中国の GDP が市場予想を上回れば株式相場の支援材料になる。

▼指数チャート

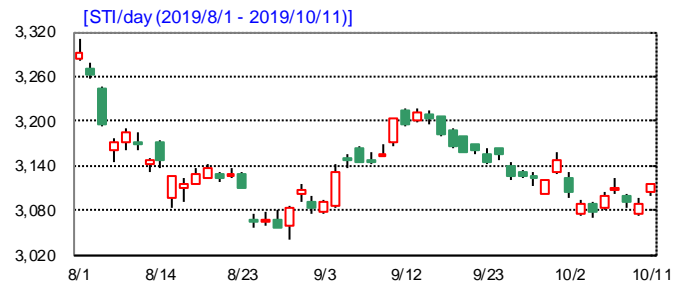


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.2%高、ブラジルでのリグ建設問題和解が奏功

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.2%高と 4 週ぶりに反発。おおむね堅調に推移した 1 週間だった。週初の 7 日は、指数ウエートの大きいケッペル・コーポレーションとセムコープ・インダストリーズが上昇をけん引し、4 営業日ぶりに反発。両社はブラジルでの海洋石油掘削設備（リグ）建設を巡るセッチ・ブラジル社との紛争が和解したことが好感された。8 日に続伸した後、9-10 日は続落したが、11 日は前日の NY ダウが米中関係の改善に対する期待感から続伸した流れを引き継ぎ、反発して引けた。今週は 17 日に 9 月の非石油地場輸出が発表される予定で、7 カ月ぶりに前年の水準を上回るかが焦点になる。

▼指数チャート

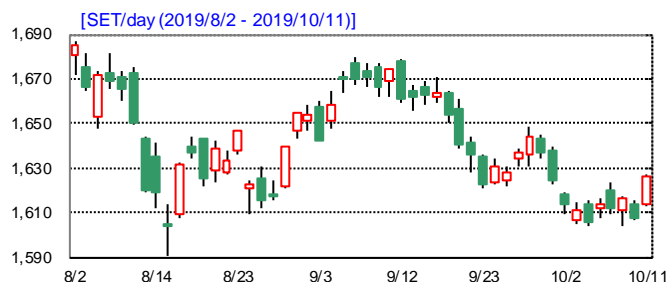


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.2%高、米中貿易協議の進展期待で上昇

SET 指数は週間で 1.2%高と反発。国内の需要イベントが少ない中、一進一退を繰り返しながら徐々に上値を広げた。週初の 7 日は、前週末の NY ダウが失業率の低下を受けて続伸した効果で反発。その後は 10-11 日の米中閣僚級会議を控えた両国の動向が指数を左右した。11 日はワシントンでの貿易協議が部分的合意を目指して続行しているとの報道を受けた期待感の広がり、前日比 1.2%高と反発して取引を終えた。今週も国内の経済指標発表が少なく、外部要因に左右される展開か。前週末の NY ダウが米中協議の進展を背景に 3 日続伸した流れは好材料。14 日はラーマ 9 世記念日の振替休日のため休場。

▼指数チャート

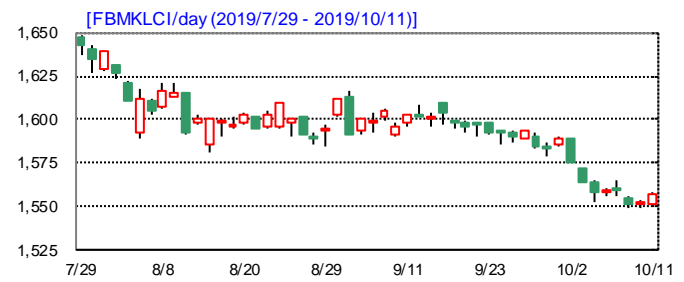


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.1%安、来年度予算案発表で週末に上昇

クアラルンプール総合指数は週間で 0.1%安と 6 週続落。小幅なレンジでもみ合った。週初の 7 日は引け際の上昇が奏功し 4 営業日ぶりに反発したが、8 日に反落すると、9 日は前日に米国務省が中国政府のウイグル族弾圧を巡り、中国高官へのビザ発給を制限すると発表したことで両国関係の緊張の高まりが懸念されて続落。ただ、週後半は 10 日の小幅反発に続き、11 日は米中貿易協議に対する楽観的な見方に加え、同日に発表された 20 年度政府予算案の内容が投資家に評価され、海上輸送の MISC や政府系電力会社のテナガ・ナショナルが指数上昇をけん引した。今週は前週末の流れを維持できるか注目される。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。